

<p>【都市経営研究科提供科目】 ミクロ経済論 Guide to Microeconomics</p>	<p>(教員名) 近 勝彦、小長谷 一之</p>	
<p>都市ビジネス専攻 基礎科目 都市政策専攻 基礎科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2018 年度・前期</p>
<p>I 科目の主題 この講義は、ミクロ経済学の基礎を多様な学部出身の社会人学生（とくに初学生）に教授するものである。全体を3部構成とする。(1) まず、消費者の行動から「需要の法則」を説明、つぎに、生産者の行動から「供給の法則」を検討する。(2) さらに市場の均衡論を検討する。部分均衡論と一般均衡論を考える。(3) さらに市場の失敗を考える。この主なものは、外部性と公共財論である。さらには、余剰論を使って、市場の最適化を考える。国際貿易もこの理論を使って分析する。これと情報経済論は、セットとなっており、ミクロ経済論が基礎を提供し、情報経済論がその部分の応用といえよう。</p>		
<p>II 授業の到達目標 ミクロ経済論は、すべての経済・経営系の基礎をなす理論といってもよい。ただし、多くの受講生にとって理解しにくいという面もある。それは、理論の前提が厳格であるとともに、すぐれて抽象的な理論を精緻に組み立てられているからである。到達目標としては、基礎概念や基礎理論を確実に理解すること、そしてミクロ経済的な考え方を身につけ日常的な経済問題を考える応用ができるようになることである。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画 (1) 基礎 (6回、担当 小長谷) 第1回 消費者の行動をあらわす ー 効用最大化 第2回 消費者の行動結果 ー 財の種類と「需要の法則」 第3回 企業の行動をあらわす ー 費用関数と利潤最大化 第4回 企業の行動結果 ー 「供給の法則」 第5回 まとめ 第6回 中間テスト (2) 中核 (5回、担当 近) 第7回 余剰論 第8回 市場均衡論 第9回 不完全競争論 第10回 独占競争 第11回 独占的競争とブランド (3) 応用 (4回、担当 近) 第12回 市場の失敗論 第13回 外部不経済論 第14回 国際経済 第15回 総括</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容 資料を配布するので、事前に読んでおくこと。</p>		
<p>V 評価方法 各パートごとのとテスト 40%とレポートの提出 60%の総合によって評価する。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント ミクロ経済学は、社会科学系の学生にとっては非常に重要な学問であるが、理解しづらい面もあるので基礎概念の徹底的な理解をしてほしい。また授業には積極的に参加すること。</p>		
<p>VII 教材 参考書 嶋村紘輝・横山将義著『図解 ミクロ経済学』ナツメ社 井堀利宏著『入門ミクロ経済学』新世社</p>		